

「炎がいどくらぶ」活動状況

炎がいどくらぶ 会長 菊地 則夫

「炎がいどくらぶ」は、平成5年、歴史公園えさし藤原の郷の開園に併せて、有志によって結成され、今年で30年目を迎えている。

活動内容は①藤原の郷の定期イベントとして全国から来訪される観光客に対して、4月下旬～11月上旬の土・日・祝日に実施している「えさしの語りべ」事業と会員が制作した紙芝居「奥州藤原氏と江刺」の上演、②観光客の要請に応じて実施している江刺史跡ガイド事業に大別される。会員数は15名（男5、女10）。

江刺は、藤原清衡公生誕の地であり、前九年・後三年合戦を経て清衡公が平泉に移るまで拠点とした土地で、国宝「紺紙金銀字交書一切経」の写経の地である。いわば「平泉前史」を考える上で欠かすことのできない土地であることから、江刺と平泉世界文化遺産との関係の周知に取り組んでいる。

令和4年度の活動状況

●えさしの語りべ事業（えさし藤原の郷 10：30～、13：30～）

実施期間：令和4年4月29日（土）～10月30日（日）までの土日祝日

開催日数：54日

ガイド人数（延べ）：180人

聴衆客数：939人

●えさし藤原の郷園内スルーガイド事業

実施回数：1回